

(様式第9)

帝大病第09-611号
平成21年10月 日

厚生労働大臣 殿

学校法人 帝 京 大
理事長 冲 永 佳

特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。
記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	192人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療の提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	354	3.8	357.8	看護業務補助	52	診療エックス線技師	
歯科医師	4	0	4.0	理学療法士	14	臨床検査技師	71
薬剤師	38		38.0	作業療法士	8	衛生検査技師	
保健師			0.0	視能訓練士	9	その他	
助産師	47	1.3	48.3	義肢装具士		あん摩マッサージ指圧師	
看護師	775	7.6	782.6	臨床工学技士	13	医療社会事業従事者	4
准看護師	11		11.0	栄養士		その他の技術員	9
歯科衛生士	4		4.0	歯科技工士	1	事務職員	140
管理栄養士	6		6.0	診療放射線技師	49	その他の職員	17

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	882.2	4.8	887.0
1日当たり平均外来患者数	1,797.2	51.1	1,848.3
1に当たり平均調剤数	1,366		

- (注) 1 「歯科等」の欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調整延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	0人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	0人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	0人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	0人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	0人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齲蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血球、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	0人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	0人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	0人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性)のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。	有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
神経変性疾患DNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過去形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	0人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
31磷一磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	0人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マルトン細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	0人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	0人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	0人
家庭性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	0人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画面上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	0人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児がん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦韌帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
ケラチン病の遺伝子診断(水泡型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水泡症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	0人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャヤー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャヤー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
カラー蛍光観察システム気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	2人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。)のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)に係るものに限る。)	有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除術後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないものに係るものに限る。)	有・無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るものに限る。)	有・無	0人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピューター支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・無	0人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・無	0人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除術後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・無	0人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	0人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	0人
PET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	0人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	0人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	0人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治療切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、障害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、障害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。)においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。)又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	44人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ペリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	0人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	196 人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	22 人
・多発性硬化症	30 人	・ウェゲナー肉芽腫症	10 人
・重症筋無力症	77 人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	16 人
・全身性エリテマトーデス	190 人	・多系統萎縮症	7 人
・スモン	1 人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人
・再生不良性貧血	32 人	・膿疱性乾癬	2 人
・サルコイドーシス	38 人	・広範脊柱管狭窄症	4 人
・筋萎縮性側索硬化症	19 人	・原発性胆汁性肝硬変	19 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	94 人	・重症急性膵炎	8 人
・特発性血小板減少性紫斑病	55 人	・特発性大腿骨頭壊死症	32 人
・結節性動脈周囲炎	19 人	・混合性結合組織病	11 人
・潰瘍性大腸炎	101 人	・原発性免疫不全症候群	1 人
・大動脈炎症候群	4 人	・特発性間質性肺炎	12 人
・ビュルガー病	10 人	・網膜色素変性症	21 人
・天疱瘡	10 人	・プリオン病	1 人
・脊髄小脳変性症	14 人	・原発性肺高血圧症	1 人
・クローン病	38 人	・神経繊維腫症	16 人
・難治性肝炎のうち劇症肝炎	1 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・悪性関節リウマチ	13 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1 人
・パーキンソン病関連疾患	79 人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0 人
・アミロイドーシス	2 人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2 人
・後縦靭帯骨化症	16 人	・副腎白質ジストロフィー	1 人
・ハンチントン病	2 人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度
剖検の状況	剖検症例数 53 例 剖検率 8 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
緩和ケアプログラムによる地域介入研究	江口研二	内科	¥144,630,000	補委 厚生労働省
在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究	江口研二	内科	¥15,132,000	補委 厚生労働省
悪性胸膜中皮腫の病態の把握と診断法、治療法の確立に関する研究	江口研二	内科	¥92,000,000	補委 厚生労働省
転移・再発乳がんに対するタキサン系薬剤とティーエスワンのランダム化比較試験の研究	江口研二	内科	¥400,000	補委 財)パブリックヘルスリサーチセンター
アレルギー疾患の自己管理と個別化医療を目指した早期診断基準と早期治療法の確立及びその有効性と有害事象の評価に関する研究	大田 健	内科	¥55,200,000	補委 厚生労働省
気道炎症モニタリングの一般臨床応用化:新しい喘息管理目標の確立に関する研究	大田 健	内科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
アレルギーのテーラーメイド治療管理ガイドラインの確立と実用化に係る調査	大田 健	内科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
気管支喘息難治・重症化の病因・病態の解明に関する研究	大田 健	内科	¥1,800,000	補委 厚生労働省
成人喘息の寛解を目指した治療薬の減量・中止に関する研究	大田 健	内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
抗HIV薬の適正使用と効果・毒性に関する基礎的研究(H20-エイズ-一般-002)	太田康男	内科	¥3,000,000	補委 厚生労働省
C. Difficileフラジェリンが感染成立に果たす役割の研究	太田康男	内科	¥1,700,000	補委 文部科学省
成長因子を標的とした肺繊維症モデルへの治療的介入と治療反応性・予後予測因子の確立	石田博文	内科	¥1,820,000	補委 文部科学省
気道ウイルス感染に対するマスト細胞の生体防御的役割の解明	長瀬洋之	内科	¥1,560,000	補委 文部科学省
アレルギー性炎症におけるIL-33の作用解析と治療応用への試み	鈴木真穂	内科	¥2,600,000	補委 文部科学省
低線量CTによる肺がん検診の効率化とその基準の作成に関する研究	関 順彦	内科	¥1,200,000	補委 厚生労働省
冠動脈インターベンションにおけるシロリスム放出性(CYPHERtm)の保険償還後の実地臨床における多施設前向きレジストリーへのデータ提供	一色高明	循環器内科	¥56,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
ベンゾジアゼピン系抗不安薬の適性使用と離脱方法に関する研究	中尾睦宏	心療内科	¥2,000,000	補委 臨床薬理研究振興財団
ニコチン依存の形成や持続に影響を与える身体・心理・行動学的要因に関する定量的評価	中尾睦宏	心療内科	¥2,000,000	補委 喫煙科学財団
健康診断を利用した自殺予防のためのうつ病スクリーニング有用性の検討	竹内武昭	心療内科	¥900,000	補委 文部科学省
福山型先天性筋ジストロフィーと類縁疾患の分子発病機序の解析と治療法の開発	清水輝夫	神経内科	¥11,000,000	補委 文部科学省
マトリックスメタロプロテアーゼ阻害薬を用いた筋ジストロフィー薬物治療の基礎的研究	清水輝夫	神経内科	¥130,000	補委 文部科学省
免疫性神経疾患に関する調査研究	清水輝夫	神経内科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
神経変性疾患に関する調査研究	清水輝夫	神経内科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
マトリックスメタロプロテアーゼ阻害薬を用いた筋ジストロフィー薬物治療の基礎的研究	松村喜一郎	神経内科	¥520,000	補委 文部科学省
福山型筋ジストロフィーおよび類縁疾患のユニークな治療法開発と病態解明	松村喜一郎	神経内科	¥1,500,000	補委 厚生労働省
筋ジストロフィーおよびその関連疾患の分子病態解明、治療法の確立と薬物治療の開発に関する研究	松村喜一郎	神経内科	¥2,000,000	補委 厚生労働省
CIDPの電気生理学的診断基準の感受性特異性についての前向き研究:SEPの有用性	園生雅弘	神経内科	¥1,040,000	補委 文部科学省
先天性筋ジストロフィーの分子病態解析と糖転移酵素を用いた治療法の開発に関する研究	斉藤史明	神経内科	¥1,950,000	補委 文部科学省
マトリックスメタロプロテアーゼ阻害薬を用いた筋ジストロフィー薬物治療の基礎的研究	斉藤史明	神経内科	¥200,000	補委 文部科学省
食道癌手術時の吻合をより安全にするための適切な血管作動性物質投与方法を解明する研究	池田佳史	外科	¥2,210,000	補委 文部科学省
マイクロアレイを用いた大腸癌術後肝転移の予測および新規肝転移関連遺伝子の検討	松田圭二	外科	¥2,080,000	補委 文部科学省
膵腫瘍の重粒子線治療研究	浅野武秀	外科	¥200,000	補委 独立行政法人放射線医学総合研究所
マイクロアレイを用いた大腸癌術後肝転移の予測および新規肝転移関連遺伝子の検討	渡邊聡明	外科	¥1,600,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	渡邊聡明	外科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
Stage II 大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究	渡邊聡明	外科	¥630,000	補委 財)先端医療振興財団
Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第III相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果測因子の探索的研究	渡邊聡明	外科	¥420,000	補委 財)先端医療振興財団
融合細胞癌ワクチンと化学療法剤の併用療法による第 I・II 相臨床試験	冲永功太	外科	¥2,080,000	補委 文部科学省
胃癌および大腸癌の骨髄・末梢血・リンパ節における転移形成能を有する、遊離癌細胞 (Isolated tumor cell, ITC) の検出とその臨床応用	飯沼久恵	外科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
融合細胞癌ワクチンと化学療法剤の併用療法による第 I・II 相臨床試験	飯沼久恵	外科	¥1,600,000	補委 文部科学省
迅速な創薬化を目指したがんペプチドワクチン療法の開発	飯沼久恵	外科	¥500,000	補委 先端医療開発特区 (スーパー特区)
ベーチェット病に関する調査研究	新見正則	外科	¥800,000	補委 厚生労働省
移植臓器の拒絶反応を抑制する免疫制御細胞を誘導する既存薬剤の探索とその機序の解明	新見正則	外科	¥2,210,000	補委 文部科学省
国内版、国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と、日本と世界の実地医療・健康アウトカム等に与える影響の検証に関する研究	吉田雅博	外科	¥19,500,000	補委 厚生労働省
診療ガイドラインの新たな可能性と課題: 患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習	吉田雅博	外科	¥500,000	補委 厚生労働省
国内版、国際版急性胆道炎診療ガイドラインの普及と、日本と世界の実地医療・健康アウトカム等に与える影響の検証に関する研究	三浦文彦	外科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究	喜多恒和	産婦人科	¥11,000,000	補委 厚生労働省
医療の発展と患者の保護をめぐる倫理・法の現代的課題に関する研究	木戸浩一郎	産婦人科	¥250,000	補委 厚生労働省
遺伝子変異同定不可先天性銅代謝異常症患者の更なる分子遺伝学的検討	児玉浩子	小児科	¥1,820,000	補委 文部科学省
低出生体重児血清中微量元素と成長に関する研究	志賀勝秋	小児科	¥3,120,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
小児のヘパリン起因性血小板減少症に関する抗複合糖質抗体の研究	疋田敏之	小児科	¥2,470,000	補委 文部科学省
Wilson病患者における肝障害発症機序の解明と治療	藤澤千恵	小児科	¥1,820,000	補委 文部科学省
敗血症に合併する腎不全に対する新しい治療法の開発: β 2アドレナリン受容体補充療法	中村明夫	小児科	¥390,000	補委 文部科学省
診療ガイドラインの新たな可能性と課題: 患者・一般国民との情報共有と医療者の生涯学習	松下 隆	整形外科	¥500,000	補委 厚生労働省
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準的治療確立のための研究	阿部哲士	整形外科	¥600,000	補委 厚生労働省
閉塞型睡眠時無呼吸症候群における体位依存性およびREM睡眠依存性について	鈴木雅明	耳鼻咽喉科	¥200,000	補委 文部科学省
人工内耳を装用した先天性高度感音難聴小児例の聴覚・言語能力の発達に関するエビデンスの確立	伊藤 健	耳鼻咽喉科	¥314,939	補委 厚生労働省
尋常性乾癬の病態におけるケミカルメディエーターの役割とその治療への応用	神田奈緒子	皮膚科	¥1,040,000	補委 文部科学省
前立腺がんのリスク評価と化学予防	堀江重郎	泌尿器科	¥800,000	補委 文部科学省
進行性腎障害に関する調査研究	堀江重郎	泌尿器科	¥2,400,000	補委 厚生労働省
早期前立腺がんにおける根治術後の再発に対する標準的治療法の確立に関する研究	堀江重郎	泌尿器科	¥300,000	補委 厚生労働省
一卵性双生児統合失調症不一致例を用いた患者特異的Alu挿入領域の同定	南光進一郎	精神神経科	¥1,000,000	補委 文部科学省
統合失調症におけるレトロポゾンAluの病因的役割	赤羽晃寿	精神神経科	¥1,300,000	補委 文部科学省
統合失調症の病因としてのゲノム不安定性とインプリンティングの解明	上野美華子	精神神経科	¥1,690,000	補委 文部科学省
統合失調症初発エピソードの認知機能障害の経過と認知機能リハビリテーションの効果	池淵恵美	精神神経科	¥1,430,000	補委 文部科学省
精神障害者の認知機能障害を向上させるための「認知機能リハビリテーション」に用いるコンピュータソフト「Cogpack」の開発とこれを用いた「認知機能リハビリテーション」効果検討に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥11,000,000	補委 厚生労働省

研究課題名	研究者氏名	所属部署	金額	補助元又委託元
精神科在院患者の地域移行、定着、再入院防止のための技術開発と普及に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥1,000,000	補委 厚生労働省
統合失調症の治療の標準化と普及に関する研究	池淵恵美	精神神経科	¥400,000	補委 厚生労働省
ラット損傷脳に対する内在性自己修復能を応用した再生治療と、効果の年齢依存性の検討	田中純一	脳神経外科	¥650,000	補委 厚生労働省
瞳孔の対光反射により頭蓋内圧を非侵襲的に評価する工学的解析方法の開発と臨床応用	上野俊昭	脳神経外科	¥1,040,000	補委 文部科学省
強度変調原体照射法と治療中の同時CT撮影による高精度放射線治療法の開発	井垣 浩	放射線科	¥1,030,000	補委 文部科学省
脳梗塞時における睡眠・覚醒サイクル異常の解明ーオレキシン動態からその機序に迫るー	福田 悟	麻酔科	¥2,860,000	補委 文部科学省
症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステムの開発とコストに関する研究	澤 智博	麻酔科	¥15,132,000	補委 厚生労働省
どの酸化ストレスマーカーが脳虚血再灌流障害の指標になりうるか？	坂本英俊	麻酔科	¥2,860,000	補委 文部科学省
情報工学等の連携による国民・患者リテラシー向上に関する研究	中田善規	麻酔科	¥17,640,000	補委 厚生労働省
症例登録を踏まえた病院共通のコンピュータシステムの開発とコストに関する研究	中田善規	麻酔科	¥700,000	補委 厚生労働省
心肺停止患者に対する心肺補助装置等を用いた高度救命処置の効果と費用に関する多施設共同研究	坂本哲也	救命救急センター	¥40,950,000	補委 厚生労働省
救急医療体制の推進に関する研究	坂本哲也	救命救急センター	¥900,000	補委 厚生労働省
救急活動効率化のためのトリアージテスト実施及びトリアージマニュアル作成	坂本哲也	救命救急センター	¥4,725,000	補委 消防庁
動作教示に注目した気管挿管教育支援システムの研究	竹内 保男	救命救急センター	¥1,040,000	補委 文部科学省

計 79

(注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2. 「研究者氏名」欄は、一つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3. 「補助元又委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Clinica. Chimica. Acta 390: 38-43 2008	Detection of apolipoproteins B-48 and B-100 carrying particles in lipoprotein fractions extracted from human aortic atherosclerotic plaques in sudden cardiac death cases	Kinoshita M	内科
J Nutr Sci Vitaminol. 54:196-202, 2008	Myo-Inositol Treatment Increases Serum Plasmalogens and Decreases Small Dense LDL, Particularly in Hyperlipidemic Subjects with Metabolic Syndrome	Kinoshita M	内科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 15(3): 109-115, 2008	Committee Report 7 Treatment—Therapeutic Lifestyle Modification	Kinoshita M	内科
Atherosclerosis 199(2):455-462, 2008	Pravastatin reduces the risk for cardiovascular disease in Japanese hypercholesterolemic patients with impaired fasting glucose or diabetes: Diabetes subanalysis of the Management of Elevated Cholesterol in the Primary Prevention Group of Adult Japanese (MEGA)Study	Kinoshita M	内科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 15(4): 167-178, 2008	Committee Report 8 Treatment—Drug Therapy	Kinoshita M	内科
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 15(5): 223-227, 2008	Committee Report 9 Elderly Patients	Kinoshita M	内科
Ann Oncol. 19; 1356-1357, 2008	receptor substrate protein 53 (IRSp53) as a binding partner of antimetastasis molecule NESH, a member of Abelson interactor protein family.	Shirafuji N	内科
Mol Oncol. 2; 16-19, 2008	NESH expression switches to the adverse effect of imatinib mesylate.	Shirafuji N	内科
分子呼吸器病 12 (1) 95-99, 2008	呼吸器症状で発症した慢性好酸球性白血病	白藤尚毅	内科
Expert Rev Mol Diagn.	Diagnosis of Helicobacter pylori infection using RAPIRUN H. pylori antibody detection kit.	Yamamoto T	内科
Drugs R D.	No relationship between plasma desacyl-ghrelin levels and rabeprazole-related delay in gastric emptying : controlled study in healthy volunteers.	Yamamoto T	内科
Thromb Res.	Low-dose aspirin prolongs bleeding after gastric biopsy in Japanese patients.	Yamamoto T	内科
Dig Dis Sci.	Does rabeprazole enhance distension-induced gastric accommodation?	Sanaka M	内科
Dig Dis Sci.	Retention, fixation, and loss of the [13C] label: a review for the understanding of gastric emptying breath tests.	Sanaka M	内科
日本臨床生理学会雑誌	ドンペリドンと臭化ブチルスコポラミンの同時経口投与が低カロリー飲料の胃排出に与える影響について	白崎由佳子	内科
臨床消化器内科	放射線腸炎出血に対してアルゴンプラズマ凝固 (APC)が有効であった1例	石井太郎	内科
臨床消化器内科	茎部からの噴出性出血を認めた十二指腸elongated polypの1例	石井太郎	内科

小計17

雑誌名	題名	発表者	所属部門
臨床消化器内科	食道pyogenic granulomaの1例	石井太郎	内科
医薬ジャーナル	各科領域における禁煙治療の実際「消化器科領域」	山本貴嗣	内科
消化器科	低用量アスピリン服用者に <i>Helicobacter pylori</i> 除菌は必要か？	山本貴嗣	内科
消化器科	アスピリン起因性上部消化管粘膜障害と胃粘膜保護薬-酸分泌抑制薬とrebamipideの併用による軽減の可能性について-	山本貴嗣	内科
消化器科	低用量アスピリン服用者における経過観察中の消化管傷害について	山本貴嗣	内科
消化器科	高齢者の出血性胃潰瘍	石井太郎	内科
Catheter Cardiovasc Interv	Maximum Skin Does During Percutaneous Coronary Intervention for Chronic Total Occlusion	Isshiki T	循環器内科
JACC Cardiovasc Interv	Upfront Thrombus Aspiration in Primary Coronary Intervention for Patients With ST-Segment Elevation Acute Myocardial Infarction	Kozuma K	循環器内科
Thromb Res	Low-dose aspirin prolongs bleeding after gastric biopsy in Japanese patients	Kozuma K	循環器内科
J Cardiol	Screening method for severe sleep-disordered breathing in hypertensive patients without daytime sleepiness	Furukawa T	循環器内科
Jornal of Cardiology 2009;53:79-85	Screening method for severe sleep-disordered breathing in hypertensive patients without daytime sleepiness.	Furukawa T	循環器内科
Glin Drug Investig	Relationship between decrease in ambulatory blood pressure and heart rate variability due to the effects of taking olmesartan medoxomil	Furukawa T	循環器内科
Circ J	Patients with peripheral artery disease who complete 12-week supervised exercise training program show reduced cardiovascular mortality and	Yokoyama N	循環器内科
Circ J	Coexistent true aortic aneurysm as a cause of acute aortic dissection	Yokoyama N	循環器内科
Environmental Health and Preventive Medicine 13:313-321, 2008	A proposed approach to suicide prevention in Japan: The use of self-perceived symptoms as indicators of depression and suicidal ideation.	Nakao M	心療内科
Social Psychiatry and Psychiatric Epidemiology 43:343-348, 2008.	Symptomatology of depressive state in the workplace: a 20-year cohort study.	Takeuchi T	心療内科
Environmental Health and Preventive Medicine 13:338-344, 2008.	Development of a questionnaire to assess 'Hie' symptoms by using an evidence-based analysis.	Takeuchi T	心療内科
Medical Teacher 30:e161-169, 2008.	Improvement of residents' clinical competency after the introduction of new postgraduate medical education program in Japan.	Nomura K	心療内科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Journal of General Internal Medicine 23:1105-1109, 2008.	The shift of residents from university to non-university hospitals in Japan: a survey study.	Nomura K	心療内科
Clin Neurophysiol	Somatosensory evoked potentials(SEPs) for the evaluation of cervical spondylotic myelopathy: Utility of the onset-latency parameters.	Nakai S	神経内科
J. Clin. Neurophysiol.	Patterns of nerve conduction abnormalities in severe carpal tunnel syndrome.	Shozawa Y	神経内科
Muscle Nerve	The Tokyo Metropolitan Neuromuscular Electrodiagnosis Study Group : Dissociated small hand muscle atrophy in amyotrophic lateral sclerosis: frequency, extent, and specificity.	Kuwabara S	神経内科
Neurology	GM1/GalNAc-GD1a complex: a target for pure motor Guillain-Barre syndrome.	Kaida K	神経内科
臨床神経生理	首都圏神経筋電気診断フォーラム: 感覚神経伝導検査の方法の施設間差: アンケートによる検討	園生雅弘	神経内科
Mech. Dev.	Reduced proliferative activity of primary POMGnT1-null myoblasts in vitro.	Suzuki Y	神経内科
Muscle Nerve	Utility of trapezius EMG for diagnosis of amyotrophic lateral sclerosis.	Sonoo M	神経内科
J Hepatobiliary pancreatic Surgery	Management of postoperative arterial hemorrhage after pancreato-biliary surgery according to the site of bleeding: re-laparotomy or interventional radiology.	三浦文彦	外科
J Cardiovasc Surg (Torino). 2008;49:545-8.	Surgery for infective endocarditis: determinate factors in the outcome.	Ishikawa S,	外科
J Thorac Cardiovasc Surg. 2008;135:1384-6.	Papillary muscle sandwich plasty for ischemic mitral regurgitation: a new simple technique.	Ishikawa S	外科
Chirurgia 2008;21:89-91.	Purse-string technique for off-pump radiofrequency modified naze procedure.	Ishikawa S,	外科
胸部外科 2009;62:41-44.	虚血性心筋症に対する合併手術-左室縮小形成術と僧帽弁形成術における術式の選択.	石川 進	外科
臨床栄養 112(3): 325-327, 2008.	手術前夜の禁飲食はもう古い?? -術前の飲水, 糖水投与のエビデンス	稲葉 毅	外科
日本外科系連合学会雑誌 33(2): 223-226, 2008.	鼠径ヘルニア嚢の自己修復操作で空腸穿孔をきたした1例.	稲葉 毅	外科
手術 62(6): 711-716, 2008.	鼠径部の解剖	稲葉 毅	外科
レジデント 1(3): 46-52, 2008.	急性腹症の診断と治療 -胃十二指腸疾患.	稲葉 毅	外科
消化器肝胆膵ケア 13(4): 18-	胃切除術後の栄養管理と食事の支援	稲葉 毅	外科

小計18

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Surg Today. 2008;38(11):1021-8. Epub 2008 Oct 29.	Surgery versus radiochemotherapy for resectable locally invasive pancreatic cancer: final results of a randomized multi-institutional trial.	Asano T	外科
Hum Mutat.29(5):703-708	Integration of hepatitis B virus DNA into the myeloid/lymphoid or mixed-lineage leukemia (MLL4) gene and rearrangements of MLL4 in human hepatocellular carcinoma.	Asano T	外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 15(2):209-212.	Renal cell carcinoma with unusual metastasis to the gallbladder.	Asano T	外科
外科治療 98(4)	腎不全患者の周術期管理	三浦文彦	外科
内科, 102(4):733-736	局所進行膵癌の治療戦略:手術療法--肝動脈・上腸間膜動脈合併切除の意義	天野穂高	外科
Cell Transplant. 2008;17(1-2):61-67	Cryopreservation of human pancreatic islets from non-heart-beating donors using hydroxyethyl starch and dimethyl sulfoxide as cryoprotectants.	Asano T	外科
Transplant Proc. 2008 Oct;40(8):2562-4.	Evaluation of segmental pancreatic function using 11C-methionine positron emission tomography for safe operation of living donor pancreas transplantation.	Asano T	外科
Hepatogastroenterology. 2008 Sep-Oct;55(86-87):1764-6.	Hepatic hilar resection for hilar cholangiocarcinoma based on a reclassification.	Asano T	外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2009 Jan 24. [Epub ahead of print	Usefulness of computed tomography during cholangiography for the diagnosis of multiple hepatic peribiliary cysts: a report of three cases with chronic liver disease.	Asano T	外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg 16(2):124-130, 2009	Clinical islet transplantation in Japan	Asano T	外科
World j Gastroenterol 2009 March 21 ; 15(11):1394-1397	Resected case of eosinophilic cholangiopathy presenting with secondary sclerosing cholangitis	Miura F	外科
Oncol Rep 21:737-746, 2009	Efficient CTL productivity of modified fusion cells by increase of HSP 70.	Iinuma N	外科
Oncol Rep 19:729-735, 2008	Prognostic value of 5-fluorouracil metabolic enzyme genes in Dukes stage B and C colorectal cancer patients treated with 5-fluorouracil based adjuvant chemotherapy.	Iinuma N	外科
Clin Cancer Res 14: 2609-2616, 2008	Hematogeneous metastasis in gastric cancer requires isolated tumor cells and expression of vascular endothelial.	Iinuma N	外科
臨床免疫・アレルギー科. 50(6): 728-730, 2008	細胞融合とプロテオーム解析を用いた癌治療の新たな標的分子の探索。	飯沼久恵	外科
Frontiers in Gastroenterology 14(1):39-48, 2009	膵癌細胞悪性度の解明と新たな治療法開発の試み	浅野武秀	外科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
Surgery Today	Intraoperative colonoscopy for stapled anastomosis in colorectal surgery.	Ishihara S	外科
J Microwave Surg 26 47-51, 2008	Cool-tip型radiofrequency ablation system を用いた子宮内膜焼灼術	梁 栄治	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 57(2):184-189,2008	膈扁平上皮癌に対して塩酸イリノテカン+ネダプラチンのcombination chemotherapyが著効した1例	杉浦 聡	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 57(3):418-420,2008	術前検査にて癒着胎盤が強く疑われた1例	堀 晋一郎	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 57(4):588-591,2008	卵巣神経内分泌腫瘍の1例	堀 晋一郎	産婦人科
日産婦東京地方部会誌 58(1):13-16,2009	特発性血小板減少性紫斑病合併妊娠の2例	中村泰昭	産婦人科
脳と発達	Valproate sodiumとphenobarbitalの併用が予防に有効であった周期性嘔吐症候群の2例	藤澤千恵	小児科
ホルモンと臨床	小児期頭蓋咽頭腫の術後、成長ホルモン療法なしにもかかわらず高身長を呈した成人女性例	藤澤千恵	小児科
脳と発達 別刷	Valproate sodiumが予防薬として有効であった周期性嘔吐症候群の1例	藤澤千恵	小児科
Brain Dev	Effective Prophylactic therapy for cyclic vomiting syndrome in children using valproate	藤澤千恵	小児科
整形外科59(7):705-711,2008.7	外傷性疾患	松下 隆	整形外科
マルホ整形外科セミナー 189:4-13,2008.7	骨折の治療は今	松下 隆	整形外科
日本医事新報 No.4399:53-56,2008.8	超音波骨折治療の効果	松下 隆	整形外科
日本医師会雑誌 137(6):1224-1225,2008.9	医療係争事例から学ぶ 24 臨床診断・レントゲン検査での骨折発見の遅れ	松下 隆	整形外科
骨折に対する低出力超音波パルス治療の基礎と臨床 129-138	骨延長術への応用	松下 隆	整形外科
転倒予防医学百科,19-23, 日本医事新報社,2008.8	「運動器の10年」世界運動からみた高齢者の転倒・骨折予防	松下 隆	整形外科
Reprinted from The Journal of Craniofacial Surgery	Treatment Strategies for Fibrous Dysplasia	平林慎一	形成外科
The Ja	肝胆膵領域癌切除後の血行再建	江口智明	形成外科
Frontiers in Glaucoma 8:210-211, 2008.	緑内障の危険因子 1)緑内障視神経障害を進行させる因子	鈴木康之	眼科
Frontiers in Glaucoma 8:212-213, 2008	緑内障の危険因子 2)眼圧の意義	鈴木康之	眼科
あたらしい眼科25: 107-109, 2008	高眼圧症の治療と管理は？	鈴木康之	眼科

小計21

雑誌名	題名	発表者	所属部門
日眼会誌 112:1039-1058, 2008	日本緑内障学会多治見疫学調査(多治見スタディ)総括報告	鈴木康之	眼科
日眼会誌, 112(10): 876-881, 2008	ソフトコンタクトレンズ長期装用に伴う眼瞼下垂の1例	根本裕次	眼科
日眼会誌, 112(12): 1085-1089, 2008.	下鼻側球結膜下に発生した眼窩脂肪ヘルニアの1例	根本裕次	眼科
Anesthesiology 2009;110:885-90	Three-dimensional morphological analyses of positional dependence in patients with obstructive sleep apnea syndrome.	Saigusa H	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 2009	Multiple system atrophy manifesting as complex sleep-disordered breathing.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
Ann Oto Rhinol Laryngol 2008; 117:849-853	Postoperative monitoring of esophageal pressure in patients with obstructive sleep apnea syndrome who underwent tonsillectomy with uvulopalatopharyngoplasty.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
Tohoku J Exp. Med. 2008; 215:349-354.	Prevalence of complex sleep apnea among Japanese patients with sleep apnea syndrome.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
J Med Dent Sci 2008;55:43-47.	Overweight patients with severe sleep apnea experience deeper oxygen desaturation at apneic events.	Suzuki M	耳鼻咽喉科
睡眠時無呼吸症候群 —循環器科医必須知識— メジカルレビュー 2008:220-224	耳鼻咽喉科的治療	鈴木雅明	耳鼻咽喉科
臨床睡眠学 日本臨床 2008;66: 457-459	睡眠関連胃食道酸逆流症	鈴木雅明	耳鼻咽喉科
Eur J Immunol	IL-12, IL-23, and IL-27 enhance human b-defensin-2 production in human keratinocytes.	Kanda, N.	皮膚科
Endocrinology	Leptin enhances human β -defensin-2 production in human keratinocytes.	Kanda, N.	皮膚科
Steroids	Novel effects of diosgenin on skin aging.	Kanda N	皮膚科
Eur J Immunol	Prolactin enhances basal and IL-17-induced CCL20 production by human keratinocytes.	Kanda, N	皮膚科
総合臨床	過活動膀胱	堀江 重郎	泌尿器科
月刊レジデント	泌尿器疾患	磯谷周治	泌尿器科
ANTICANCER RESEARCH	DNA Damage Response in Prostate Cancer Cells after High-intensity Focused Ultrasound (HIFU) Treatment	Ide H	泌尿器科
International Journal of Urology	Clinical Practice Manual for Late-onset Hypogonadism Syndrome	Horie S	泌尿器科
Clinical Rehabilitation	泌尿器疾患の薬物療法	磯谷周治	泌尿器科
ANTICANCER RESEARCH	Development of a Nomogram for Predicting High-grade Prostate Cancer on Biopsy: the Significance of Serum Testosterone Levels	Ide H	泌尿器科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
THE BONE	癌に伴う骨病変の治療 2.前立腺癌に対する内分泌療法に伴う骨病変とその治療	井手久満	泌尿器科
臨床と研究	特集・進歩した排尿障害の治療 男性の排尿障害と治療 尿道凶作	堀江重郎	泌尿器科
アンチ・エイジング医学-日本抗加齢医学会雑誌	総説 EDからアンチエイジングを考える	堀江重郎	泌尿器科
癌と化学療法	泌尿器系腫瘍 IV.腎細胞癌	堀江重郎	泌尿器科
週刊日本医事新報	微小血尿の鑑別診断	堀江重郎	泌尿器科
臨床泌尿器科	泌尿器科外科ベストナビゲーション 6.内分泌疾患 副腎・後腹膜の疾患	磯谷周治	泌尿器科
医学のあゆみ	多発性嚢胞腎の治療の新展開	武藤智	泌尿器科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet.	Up-regulation of ADM and SEPX1 in the lymphoblastoid cells of patients in monozygotic twins discordant for schizophrenia.	Nanko S	精神神経科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Mitochondrial DNA haplogroup analysis in patients with bipolar disorder.	Nanko S	精神神経科
Brain Nerve	急な視力視野障害で発症した中頭蓋窩くも膜嚢胞の1例	石井映幸	脳神経外科
Acta neurochir	Cisternal washing therapy for the prevention of cerebral vasospasm following SAH	Nakagomi T	脳神経外科
分枝脳血管病	モヤモヤ病	古屋一英	脳神経外科
Cardiac Prac	頸動脈病変に対するアプローチ	上野俊昭	脳神経外科
Neurocritical care society	Impact of Infection on Length of Intensive Care Unit Stay after Intracerebral Hemorrhage	Ohwaki K	脳神経外科
Can.J.Neurol,Sci	Symptom Predictors of Cerebrospinal Fluid Leaks	Ohwaki K	脳神経外科
Neurol Res	L-PDMP improves glucosylceramide synthesis and behavior in rats with focal ischemia	Fujimaki T	脳神経外科
胆と膵 (0388-9408)29巻臨増特大 Page1279-1285(2008.11)	MDCTによる膵臓の画像診断 造影剤動注下MDCTによるインスリノーマの検出と3D画像;選択的動脈内カルシウム注入試験(SAVS)との併用	竹下浩二	放射線科
臨床放射線 (0009-9252)53巻5号 Page655-659(2008.05)	Lemierre症候群の1例	治山高広	放射線科
Radiology. 2009 Feb;250(2):545-50.	Effective dose during abdominal three-dimensional imaging with a flat-panel detector angiography system.	Suzuki S	放射線科
J Hepatobiliary Pancreat Surg. 2009;16(1):56-63. Epub 2008 Dec 26.	Management of postoperative arterial hemorrhage after pancreato-biliary surgery according to the site of bleeding: re-laparotomy or interventional radiology.	Miura F	放射線科

雑誌名	題名	発表者	所属部門
J Vasc Interv Radiol. 2008 Sep;19(9):1361-5. Epub 2008 Jul 11.	Entrance surface dose during three-dimensional imaging with a flat-panel detector angiography system.	Suzuki S	放射線科
AJNR Am J Neuroradiol. 2008 Jun;29(6):1076-81. Epub 2008 Apr 3.	Patient skin dose during neuroembolization by multiple-point measurement using a radiosensitive indicator.	Suzuki S	放射線科
J Comput Assist Tomogr. 2008 Mar-Apr;32(2):252-8.	Detection of in-stent restenosis of coronary stents using 40-detector row computed tomography in vitro.	Suzuki S	放射線科
J Comput Assist Tomogr. 2008 Mar-Apr;32(2):191-7	Differential diagnosis of benign or malignant intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas by multidetector row helical computed tomography: evaluation of predictive factors by logistic regression analysis.	Takeshita K	放射線科
Catheter Cardiovasc Interv. 2008 May 1;71(6):792-8.	Methods to reduce patients' maximum skin dose during percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion.	Suzuki S	放射線科
日本放射線技師会雑誌 (0287-9395)55巻4号 Page333-340(2008.04)	消化管X線画像における補間誤差の抽出とその臨床画像への影響について	岡本孝英	中央放射線部
Anesthesia21 Century	自然睡眠・覚醒神経回路におけるオレキシンの役割—麻酔からの覚醒に關与する神経ペプチド—	福田 悟	麻酔科
Facial N Res Jpn	顔面神経麻痺の病態とリハビリテーション	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jpn	顔面神経障害の電気診断	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jpn	サリドマイド先天性顔面神経麻痺のMRI画像と電気生理学的所見	栢森良二	リハビリテーション科
Facial N Res Jpn	顔面神経麻痺の後遺症評価: Sunnybrook法	栢森良二	リハビリテーション科
JOHNS	顔面神経麻痺up to date:Q&A-顔面神経麻痺の理学療法は	栢森良二	リハビリテーション科
Peripheral Nerve	滑車上肘筋による肘部尺骨神経障害の電気生理学的特徴	栢森良二	リハビリテーション科
総合臨床	顔面神経麻痺の診断と治療	栢森良二	リハビリテーション科
日本口腔外科学会雑誌	マウス二次口蓋発生におけるmedial edge epithelium消失の観察	西堀陽平	歯科口腔外科
Am J Emerg Med.	The Emergency Coma Scale for patients in the ED:concept, validity and simplicity.	Sakamoto T	救命救急センター
Circ J	Comparison of arterial blood gases of laryngeal mask airway and bag-valve-mask ventilation in out-of-hospital cardiac arrests.	Sakamoto T	救命救急センター
J Neurotrauma	Age-associated increases in poor outcomes after traumatic brain injury: a report from the Japan Neurotrauma Data Bank.	Sakamoto T	救命救急センター

雑誌名	題名	発表者	所属部門	
J Emerg Med.	Medullar injury caused by sewing needle puncture.	Morimura N	救命救急センター	
日本外科感染症学会雑誌	救命センター患者に対する免疫強化栄養剤投与による白血球Toll-like receptor 4発現の変化と臨床的有用性	西田昌道	救命救急センター	
産業医学ジャーナル	無水クロム酸の全身曝露中毒に対して組み立て式除染テントを用いた一例	新福玄二	救命救急センター	
日本救急医学会雑誌	電話救急医療相談におけるプロトコールの導入とその効果	森村尚登	救命救急センター	小計 4
				合計152

- (注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 小寺 一 興
管理担当者氏名	医事課 飯塚裕之, 医療情報課 千葉隆, 総務課 和久正志 患者相談室 内田れい子, 薬剤部 渡邊真知子

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		総務課 医療情報課 各病棟 各科診療科	診療録等は年度別・科別・アドレス順フィルムはターミナルデジット方式 その他については年度別
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	各科診療科	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	〃	
	高度の医療の研修の実績	〃	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	病診連携室	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部	
規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理部 総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理部 総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理部 総務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理部 総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課 薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課 医薬情報センター
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME部 経理課 中央放射線部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	千葉 隆
閲覧担当者氏名	千葉 隆
閲覧の求めに応じる場所	カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	54.1%	算定期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日
算 出 根 拠	A : 紹介患者の数	14,884 人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,620 人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	7,791 人	
	D : 初診の患者の数	49,244 人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (2名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有) ・ 無
・所属職員：専任(1)名 兼任(16)名 ・活動の主な内容 1)安全管理対策の推進 2)定例安全管理部会のおよび臨時の安全管理委員会の開催 3)安全管理担当者連絡委員会を開催し、安全管理委員会で決定された事項の周知徹底 4)医療事故発生防止のための情報収集と教育 5)院内各部署への立ち入り検査と関係書類の調査 6)安全管理に関わる関係部署との連絡調整 7)医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 8)発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 9)発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 10)発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 11)発生した医療事故の原因の究明および指導 12)発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底 13)安全管理委員会、安全管理部会の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有) ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有) ・ 無
・指針の主な内容： 1)安全管理に関する基本的な考え方 2)安全管理委員会その他の組織に関する基本事項 3)安全管理のための職員研修に関する基本方針 4)安全確保を目的とした、事故報告書に基づく改善策の立案、実施に関する基本方針 5)医療事故等発生時の対応に関する基本方針 6)病院職員と患者の情報共有に関する基本方針 7)患者からの相談への対応に関する基本方針 8)安全管理対策に関する指針および安全管理マニュアルの見通しと周知の方針	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・活動の主な内容： 1)安全管理対策の推進 2)医療事故発生防止のための情報収集と教育 3)医療事故発生防止ための対策の立案と施設・設備の改善計画の立案および実施状況の調査 4)発生した医療事故の実情の把握と処理法の立案 5)発生した医療事故等に関する診療録、看護記録等の調査および指導 6)発生した医療事故に対する患者、家族等への対応状況の確認および指導 7)発生した医療事故の原因究明の確認および指導 8)発生した医療事故に対する再発予防対策の立案・実施・職員への周知徹底	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
・研修の主な内容： 別紙参照	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 ((有) ・ 無) ・その他の改善のための方策の主な内容： ○安全管理委員会において事故の事例分析および発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する	

医療に係わる安全管理のための職員研修(平成20年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
新入職員オリエンテーション	平成20年4月1日(火) 平成20年4月2日(水)	8:30~17:00 8:30~17:00	看護職員 117名 医療技術員 21名 事務職員 11名	安全管理体制について 放射線に関する知識と安全対策について
研修医基礎研修	平成20年4月1日(火) ~ 平成20年4月30日(水)	9:00~17:00	研修医 40名	医療事故の法律問題と事故への対応 放射線の人体に与える影響 放射線の安全取り扱い総論 放射線の安全取り扱い各論 放射線障害防止に関する法令及び放射線障害予防規定 医療事故防止 安全管理体制 医療裁判に関するカルテ記載 暴力行為への対応
新規採用医師講習会	平成20年6月27日(金) 平成20年6月30日(月)	17:30~18:30 17:00~18:00	15名 19名	安全管理体制について 講師:坂本教授
医療事故防止に関する講習会 第1回	平成20年8月1日(金)	17:30~19:00	886名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長 採血の患者取り違い防止について 講師:森村准教授 インシデント・アクシデント集計報告 講師:上野リスクマネージャー
医療事故防止に関する講習会 ビデオ講習 第1回	平成20年10月28日(火) 平成20年11月6日(木)	17:30~19:00	299名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長 採血の患者取り違い防止について 講師:森村准教授 インシデント・アクシデント集計報告 講師:上野リスクマネージャー
職員研修会	平成21年2月17日(火)	17:30~19:00	150名	医療事故が発生した時の初期対応について 講師:西内・加々美法律事務所 西内岳弁護士
医療事故防止に関する講習会 第2回	平成21年3月30日(月)	17:30~19:00	833名	医薬品副作用報告制度について 講師:中島薬剤部課長補佐 気管切開術の院内マニュアルについて 講師:池田講師 インシデント・アクシデント集計報告 講師:上野リスクマネージャー

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有) ・ 無
<p>・指針の主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会及び組織に関する基本事項 3. 院内感染対策のため職員研修・情報共有に関する基本指針 4. 院内感染発生状況の報告と対応に関する基本事項 5. 院内感染対策要綱の見直しと周知に関する基本事項 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容:</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 院内における感染症の発生状況の把握 (2) 発生した感染症への対応策の一般的・個別的コンサルテーション (3) 院内感染症の発生予防と対応に関する情報の収集と提供 (4) 院内感染症の発生予防の具体策の提案 (5) 院内感染症の発生予防に関する教育 (6) 院内感染症に関する研究 (7) その他重要な感染症に関する情報の収集と教育、対策の立案 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 回
<p>・研修の主な内容:</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">別紙参照</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p style="padding-left: 20px;">○感染制御部・衛生委員会において感染症発生要因の分析を行ない、改善策を立案し、各部署・職員に対し周知徹底する</p>	

院内感染対策に関する職員研修(平成20年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
新入職員オリエンテーション	平成20年4月1日(火) 平成20年4月2日(水)	8:30~17:00 8:30~17:00	看護職員 117名 医療技術員 21名 事務職員 11名	院内感染対策について
研修医基礎研修	平成20年4月1日(火) ~ 平成20年4月30日(水)	9:00~17:00	研修医 40名	院内感染対策について 抗生物質の取り扱いについて 外科的抗菌薬の使い方
新入医師講習会	平成20年6月27日(金) 平成20年6月30日(月)	17:30~18:30 17:00~18:00	15名 19名	院内感染対策について 講師:太田教授
院内感染予防講習会 第1回	平成20年6月9日(月)	17:30~18:30	968名	感染対策の基本について 講師:大田教授 手洗いおよび針刺し事故について 講師:工藤師長 麻疹等の感染対策について 講師:西谷准教授
院内感染予防講習会 第1回ビデオ講習	平成20年9月26日(金) 平成20年9月29日(月)	17:30~18:30	241名	感染対策の基本について 講師:大田教授 手洗いおよび針刺し事故について 講師:工藤師長 麻疹等の感染対策について 講師:西谷准教授
院内感染予防講習会 第2回	平成20年11月12日(水)	17:30~18:30	770名	咳エチケットとインフルエンザ 講師:古賀医師 手洗い実施率向上への取り組み 講師:芦田看護師長 抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMについて 講師:中島薬剤部課長補佐
院内感染予防講習会 第2回ビデオ講習	平成20年11月21日(金) 平成20年11月26日(水)	17:30~18:30	253名	咳エチケットとインフルエンザ 講師:古賀医師 手洗い実施率向上への取り組み 講師:芦田看護師長 抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMについて 講師:中島薬剤部課長補佐

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
<p>・研修の主な内容:</p> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">別 紙 参 照</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・手順書の作成 ((有) ・ 無)</p> <p>・業務の主な内容</p> <p>(1) 医薬品の安全管理対策の推進</p> <p>(2) 定例医薬品安全管理委員会の開催および臨時の医薬品安全管理委員会の開催</p> <p>(3) 職員に対する医薬品の安全使用のための研修会の開催およびその内容の記録</p> <p>(4) 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の策定、見直しおよびそれに伴う庶務に関すること。</p> <p>(5) 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集と職員への周知徹底</p> <p>(6) その他医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施</p> <p>(7) 医薬品安全管理委員会の資料および議事録の作成並びに保存等の庶務に関すること。</p> <p>(8) その他医薬品安全管理委員会が認めたもの。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 ((有) ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>各メーカーのMR・ホームページ、医薬品医療機器情報提供ホームページより情報を収集し、各部署へDIニュースとして発信、研修会の実施。</p>	

医薬品の安全使用のための職員研修(平成20年度)

研修区分	期日	時間	参加人数	テーマ
研修医基礎研修	平成20年4月1日(火) ～ 平成20年4月30日(水)	9:00～17:00	研修医 40名	術前術後の輸液管理・栄養管理 外科的抗菌薬の使い方 麻薬および向精神薬の管理
医療事故防止に関する講習会 第1回	平成20年8月1日(金)	17:30～19:00	886名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長
医療事故防止に関する講習会 第1回 ビデオ講習	平成20年10月28日(火) 平成20年11月6日(木)	17:30～19:00	299名	麻薬および向精神薬の管理について 講師:山岡薬剤部長
院内感染予防講習会 第2回	平成20年11月12日(水)	17:30～18:30	770名	抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMIについて 講師:中島薬剤部課長補佐
院内感染予防講習会 第2回 ビデオ講習	平成20年11月21日(金) 平成20年11月26日(水)	17:30～18:30	253名	抗インフルエンザ・MRSA薬のTDMIについて 講師:中島薬剤部課長補佐
医療事故防止に関する講習会 第2回	平成21年3月30日(月)	17:30～19:00	833名	医薬品副作用報告制度について 講師:中島薬剤部課長補佐

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(有) ・ 無			
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 25 回			
<p>・研修の主な内容：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: middle;"> <ul style="list-style-type: none"> 1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射 </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle; padding: 0 10px;">}</td> <td style="vertical-align: middle;">の取扱いについて</td> </tr> </table>		<ul style="list-style-type: none"> 1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射 	}	の取扱いについて
<ul style="list-style-type: none"> 1. 人工心肺装置及び補助循環装置 2. 人工呼吸器 3. 血液浄化装置 4. 除細動器(AEDを除く) 5. 閉鎖式保育器 6. 診療用高エネルギー放射線装置 7. 診療用粒子線照射 	}	の取扱いについて		
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況				
<p>・計画の策定 (有) ・ 無)</p> <p>・保守点検の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 1) 使用前、使用中、使用後の点検 2) 1週間～1年の定期点検 3) 点検方法は各医療機器の取扱い説明書を参考に実施している。 				
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況				
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器メーカーからの安全性情報等が来た場合、安全管理部や医療機器安全管理部と相談し、当該部署へ通達する。</p>				